

「多様な子育て観で、ポストコロナ時代の新しい日常を支える子育て支援者」セミナー (オンライン：オンデマンド公開研修会)実施要領

【趣 旨 (目的)】

新型コロナウイルス感染症パンデミック下、感染予防を主軸に抑圧された感情やつながり感消失の危機感が子育て観に連鎖し、育てにくさを感じている子育て世代の心や行動を揺さぶり、鬱や自殺・虐待等様々な問題が顕在化してきています。同時にそれは彼らを支える支援者にも大きな影響を与えています。

本研修は、ポストコロナ時代の新しい日常に寄り添い支えつなぐ支援者の在り方や支え方を学び、心を開いて信頼関係を構築し継続的な支援ができることを目的としています。

【対 象】

栃木県に在住及び就労している方で
乳幼児期から思春期の子を持つ子育て世代を支える保健師、助産師、保育士、児童福祉司
の母子保健・子育て支援に係る専門職またはポストコロナの子育てに関心のある方

【視聴期間】 令和3年11月1日(月) 9:00～11月14日(日) 17:00

【申込み受付期間】 令和3年10月13日(水)～25日(月)

【受講料】 無料

【実施主体】 主催 特定非営利活動法人 とちぎみらいwithピア
後援 栃木県、公益社団法人母子保健推進会議
協力 自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門

【申込方法】 本 NPO 研修特設ウェブサイト <https://ws.formzu.net/fgen/S87974972/>より
お申込みください。
後日、研修開始前日までに URL をお知らせします。
併せて、受講される方の事前・事後アンケートにご協力をお願いします。
ます。右の QR コードからもお申込みできます。⇒



《プログラム》

時間およびコマ数	テーマ	講師
40分×1	講義Ⅰ 「ポストコロナ時代を生きる親子を地域でサポート！ ～多様な生き方を受けとめ寄り添うために～」	公益社団法人 母子保健推進会議 常務理事 鎌溝 和子
35分×1	講義Ⅱ 「ポストコロナ時代の少子化対策への提言」	自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 教授 中村 好一
60分×1	講義Ⅲ 「こんなに違う！？物の見え方、聞こえ方～ ～発達障害を理解するために～」	帝塚山学院大学 大学院 教授 大堀 彰子
30分×1	講義Ⅳ 「ポストコロナ時代における支援者に求められること ～寄り添いつなぎエンパワメントを支えるために～」	自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 名誉教授 高村 壽子
60分×1	演習Ⅰ：エンカウンター 「本音と本音の出会いで新たな自己発見体験!! ～対象者に寄り添いつなぐ力を身につけよう～」	同上

合計時間 3.75時間

上記の内容を講義Ⅰから順に視聴してください。何度かに分けての視聴、繰り返しの視聴も可能です。
時間は目安です。すべてのコマを受講されアンケートに答えた方には、後日修了証書をお送りします。